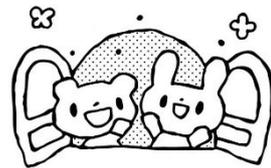


えんだより

キラキラ 7月



2021年7月1日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

梅雨の晴れ間に水遊び・泥んこ遊びを楽しんでいます。子どもたちは水が大好き！「キャー！！」と大きな歓声を上げて楽しんでいます。あっという間に全身びしょびしょ・・・保育者もびしょびしょです。泥んこも最初のうちは遠慮をしながらやっていましたが、最近はダイナミックになってきました。子どもたちは、泥まみれになることや泥団子を作ることなど、泥の感触を楽しんでいます。年長児になると、大きな山を作り、トンネルを掘って水を流し、どうしてこの方向に流れるのか、堰き止めたらどうなるか、などを考えながら遊びます。こんなところにも学びがありますね。お洗濯が大変だと思いますが、よろしくお願い致します。(夏の間は汚れてもいい服で登園してください。思いがけず泥遊びになる可能性もあります・・・)

最近よく耳にする「SDGs」について、未来を担う保土ヶ谷保育園の子どもたちにも伝わるよう、絵本を購入してみました。「わたしがかわる みらいもかわる～SDGsはじめのいっぽ」4, 5歳児クラスの子どもたちに保育者が読んであげると、みんな真剣な顔をして聞いていました。子どもの貧困などは特に心に響いたようでした。年長のクラスでは、いつもなら捨ててしまいそうな折り紙や、切った色画用紙の端切れなど、「まだ使えるよね。」「こんなの捨てたらもったいないよね。」など、物を大切にする声が聞かれ、給食の残食もすごく減ったそうです。「これはどうしても食べられないんだ・・・」と野菜を前に苦戦する子もいて、保育者が「無理しなくても大丈夫だよ。」と声を掛けていました。子どもたちの純粋な気持ちをこれからも大切にしていきたいと思います。(めだか文庫にもありますので興味のある方は是非お手に取ってみてください)



園長

<絵本の選び方>

みなさん本を読んでいますか？父母が本をよく読むことと、子どもの読書量、漢字の読字、語彙力とは深く関係しています。

絵本の選び方としては、子どもも大人も楽しめる、読んでいる大人が楽しんでいることが大切です。そして、リズムがいい・絵がストーリーに合っている・言葉と絵があっている・ベストセラーよりロングセラーがお勧めです。

子どもはよく同じ本を読んでもらいたいといいますよね？それは「この本が面白い」とわかっているからです。何度でも読んであげてください。(裏表紙・見返し・裏見返しも見せてあげる)

絵本は読ませるものではなく読んであげるもの～身近な大人の膝の上で、ぬくもりを感じながら絵本を読んでもらった記憶は「愛されていた記憶」としてその後の人生の支えになっていきます。

鳥取大学地域学部副学部長教授 塩野谷 斉 先生

🏠 今月の予定 🏠

- 5日(月) 英語
- 7日(水) 七夕集会
- 9日(金) 交通安全指導
- 14日(水) 避難訓練
- 21日(水) 幼児集会

※夏休みの予定のある方は担任までお知らせください。